

第2回 パラスポーツの振興とバリアフリー推進 に向けた懇談会



パラスポーツの振興と
バリアフリー推進に向けた懇談会

「東京大会後の取組」

< 報 告 >

- 都は、8月24日に「東京2020パラリンピック1周年記念イベント」を開催
- 障害の有無を問わず多くの方に参加いただけるよう、情報保障やアクセシブル対応などの取組を実施

パラリンピック 1周年記念イベント

- 日程** 令和4年8月24日（水）
- 会場** 有明アリーナ ほか
- 内容** 記念セレモニー
車いすバスケットボールエキシビジョンマッチ
アーティスト等のステージ 等
- 来場者** 約9,200人
- オンライン視聴数** ライブ配信：約78,000回
アーカイブ：約94,000回

記念セレモニー



ライブパフォーマンス



エキシビジョンマッチ



エンディング



情報保障やバリアフリー等の取組

聴覚障害者への情報保障

- ・手話通訳付き観客席の設置、手話の映像配信
- ・アーカイブ配信での字幕情報の提供

字幕情報の提供



DXを活用した参加機会の確保

- ・分身ロボットを活用し、障害福祉施設の利用者に観戦機会を提供
- ・VRシアターにより特別支援学校の児童・生徒に観戦機会を提供
- ・来場が難しい方にも参加いただけるよう、多摩地域のプラネタリウムで「臨場感LIVEシアター」を実施

分身ロボット



VRシアター



アクセシブル対応席の提供

- ・車いす席、要配慮者席の設置
- ・補助犬同伴席の設置

車いす席



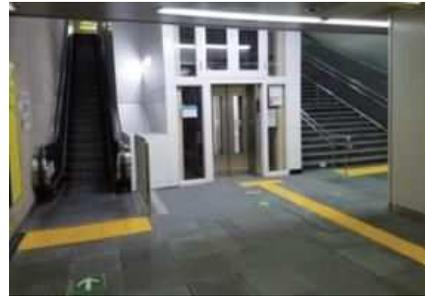
- 都内鉄道駅での**バリアフリールート**※確保、**視覚障害者誘導用ブロック**・**車椅子利用者対応トイレ等の設置**がほぼ全駅で完了
複数の出入口や乗換経路におけるバリアフリールート確保も、都が示した優先整備の考え方にに基づき、各鉄道事業者が計画的に推進
 - 利用者が10万人以上のターミナル駅に加えて、競技会場周辺の最寄り駅や空港アクセス駅等において、**ホームドアの整備**が促進
 - 地域の身近な移動手段である**路線バス車両のノンステップ化**がほぼ完了
 - 環境性能が高く、車椅子のまま乗降できる**ユニバーサルデザインタクシー車両**が普及
- ※バリアフリールート：駅出入口からホームまで段差なく移動できる経路

鉄道駅



エレベーター等による1ルート確保状況
〈都市整備局・交通局〉

H25末 95.4% → R3末 98.0%
※都営地下鉄 100%



視覚障害者誘導用ブロックの設置状況
〈都市整備局・交通局〉

H25末 99.2% → R3末 99.9%
※都営地下鉄 100%



車椅子利用者対応トイレ等の設置状況
〈都市整備局・交通局〉

H25末 94.1% → R3末 97.1%
※都営地下鉄 100%



ホームドアの設置状況
〈都市整備局・交通局〉

H25末 30.1% → R3末 49.3%
※都営地下鉄 85.3%



路線バス

ノンステップバスの普及状況

〈都市整備局・交通局〉



H25末 89.2% → R3末 95.8%
※都営バス 100%



タクシー



ユニバーサルデザインタクシーの普及状況
〈環境局〉

補助実績 H28末 3台 → R3末 13,887台

- 競技会場や観光施設周辺の道路を中心に、歩道の段差解消・勾配の改善、視覚障害者誘導用ブロックと交差点のエスコートゾーン・視覚障害者用信号機等の連続的な整備が進み、利用者の多い主要駅周辺等の都道では、無電柱化と一体的な整備を推進
- 競技会場、練習会場等となる都立公園や海上公園を中心に、園路での勾配の改善やスロープ・手すりの設置、視覚障害者誘導用ブロックの設置、トイレでの洋式化やオストメイト用設備・乳幼児用設備の設置等を推進

道路



都道のバリアフリー化
〈建設局〉

特定道路等の整備 (H27末 327km(完了))
優先整備路線の整備 (うち競技会場周辺等の都道)
(H28末 約18km → R2末 約90km(完了))



都道の無電柱化
都内(都道)の地中化率〈建設局〉

センター・コア・エリア内
(H25末 85% → R1末 概ね完了)
第一次緊急輸送道路 うち環状七号線
(H25末 27% うち環状七号線 25% →
R3末 45% うち環状七号線 56%)



道路標識の整備

すべての人にわかりやすい道路案内標識の整備
〔「東京みちしるべ2020」〕〈建設局〉

H27末 1,642枚 →
R1末 10,515枚 (完了)

エスコートゾーンの設置状況
〈警視庁〉

H25末 536か所 → R3末 746か所

臨海部におけるバリアフリーの推進
競技会場や観光施設周辺道路の整備
〈港湾局〉

H30末 3km → R1末 10km(完了)



公園



都立公園の整備

誰もが快適に利用できる公園を整備〈建設局〉

H26~R3整備実績 累計54.6ha新規開園



海上公園の整備

競技会場等となる既存公園の整備改修〈港湾局〉

H26~R3整備実績 のべ27箇所

- 都立の**競技会場**では、「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」に加えて、「**アクセシビリティ・ワークショップ**」での意見を踏まえて整備
- 都や区市町村の**スポーツ施設**、**都庁舎**、**都立の学校**、**文化施設**、**公共住宅等**において、改修や新設の際にバリアフリー化が進展
- **宿泊施設**の**車椅子利用者用客室**や**共用部のバリアフリー化**を促進、**一般客室の整備基準**を条例化し、あわせて**約3,200室を確保**
- 区市町村が作成した**バリアフリー基本構想に基づく面的整備**や、障害当事者等の**住民参加によるバリアフリー化改修等**が促進

スポーツ施設



オリンピック・パラリンピック競技会場の整備
 都が新設する恒久施設について
 ユニバーサルデザインの視点に立った整備を行う
 〈生活文化スポーツ局〉

H26～R1整備完了
 有明アリーナ、大井ホッケー競技場 等



都立体育施設等のバリアフリー化
 大規模改修に合わせ
 必要なバリアフリー化工事を実施
 〈生活文化スポーツ局〉

H27～R3整備実績
 有明コロシアム、東京体育館 等



区市町村立スポーツ施設のバリアフリー化
 スポーツ環境の拡大工事やバリアフリー工事等
 を支援 〈生活文化スポーツ局〉

補助実績 H26～R3のべ262件

宿泊施設



宿泊施設のバリアフリー化
 客室等のバリアフリー改修等支援
 〈産業労働局〉

補助実績 H26～R3のべ188件

※R4.10月末時点（R3実績は交付決定ベース）



出典：移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン（国土交通省）

バリアフリー基本構想等作成事業
 区市町村のバリアフリー基本構想等
 作成費補助 〈都市整備局〉

補助実績 H26～R3のべ26区市



面的整備・当事者参画

ユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業
 障害当事者等の住民参加による調査を踏まえた
 施設のバリアフリー化改修等に取り組む
 区市町村を支援 〈福祉保健局〉

補助実績 H29～R3 のべ点検事業 29件
 緊急整備 45件
 トイレ洋式化 3,697基
 トイレ環境整備111か所



東京2020大会を契機としたバリアフリー化の主な進捗状況 ④ ソフト面

- 東京2020大会に向け、障害の有無に関わらず、互いに尊重し合える「**共生社会の実現**」を目指し、心と情報のバリアフリーの取組を推進
- 人々の意識の中で作り出され、社会や環境にあるバリアをなくすために必要な行動を続ける、「**心のバリアフリー**」の社会的気運を醸成
- 誰もが必要な情報をスムーズに入手できるよう、「**情報バリアフリー**」の充実を図り、大会後には手話言語条例を制定
- 障害者や高齢者、外国人旅行者等が安心して東京での滞在を楽しめるよう、**アクセシブル・ツーリズムの普及**や**多言語対応**等を促進

心のバリアフリー

シティキャスト（都市ボランティア）に対する研修
 シティキャストの育成に向け研修等を実施
 〈旧オリンピック・パラリンピック準備局：R1～3〉

心のバリアフリーサポート企業連携事業
 心のバリアフリーの推進に取り組む企業等を登録し、好事例企業等の取組状況を公表
 〈福祉保健局：H30～〉

心のバリアフリー普及啓発ポスターコンクール
 都内の小学生・中学生を対象に作品を募集し、入賞作品を活用したポスターを幅広く配布
 〈福祉保健局：H28～〉

「心のバリアフリー」の実践に向けたハンドブックの作成
 障害の社会モデルやコミュニケーション、適切な配慮について、具体的な事例を交えて紹介
 〈福祉保健局：H29〉






情報バリアフリー

バリアフリー情報のオープンデータ化
 都内公共施設等の車椅子利用者対応トイレの情報をオープンデータとして公表
 〈福祉保健局：H30～〉

R3末時点 8,713基

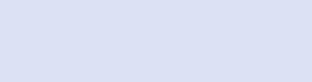
TOKYO障スポ・ナビの運用
 障害者のスポーツに関する様々な情報を掲載したポータルサイトを運営
 〈生活文化スポーツ局：H24～〉

ときょうユニバーサルデザインナビ
 外出に必要な情報が集約されたポータルサイトを運営
 〈福祉保健局：H27～〉

手話のできる都民育成事業
 手話及び聴覚障害の普及啓発イベント等を実施
 〈福祉保健局：H26～〉

R3末時点 9,906名




アクセシブル・ツーリズムの推進

① 障害者や高齢者等が積極的に外出して、様々な交通機関を快適に利用しながら旅行ができる環境を整備
 〈産業労働局：H29～〉

② バリアフリーの観光ルート上の情報をパンフレットやウェブサイトで情報発信
 〈産業労働局：H27～〉

観光




ウェブサイトによる観光情報の発信

東京の様々な観光の魅力を多言語でウェブサイト「GO TOKYO」等により発信
 〈産業労働局〉

東京ひとり歩きサイン計画

ピクトグラムや多言語で表記した観光案内標識を設置
 〈産業労働局〉

H26年度改訂の指針に基づく観光案内標識設置実績 H27～R2 累計554基



パラ応援大使活動報告 ① 応援メッセージの発信

- ・ 谷垣禎一名誉顧問のメッセージ掲載（パラリンピック1周年）
- ・ パラ応援大使からのメッセージを懇談会ホームページや公式SNSで配信
北京冬季パラリンピック：28組、パラリンピック1周年：25組

★谷垣禎一名誉顧問よりメッセージを頂きました（2022年8月）

閉じる ▲

パラリンピック1周年をむかえ、メッセージを頂きました！



東京2020パラリンピック大会では、アスリートが世界中の人々に感動と共に、「自分たちもできるんだ」というメッセージを届けてくれました。毎日リハビリに務める私自身も、パラアスリートから大きな勇気をもらいました。

東京2020大会のあと、一番大事なことは、障害の有無に関わらず、誰もがスポーツできる環境を作っていくことだと思います。

あの感動から1周年。誰もがスポーツを楽しむことができる社会、バリアフリー社会の実現を願ってやみません。

名誉顧問 谷垣禎一

[【読み上げ用テキスト】 \(577 KB\) ㊦](#)

<懇談会ホームページ（谷垣名誉顧問）>



パラ応援大使 @TMGparaspo_Ambs · 8月20日

パラスポーツムーブメントの輪を広げよう!!
#パラ応援大使の #小谷実可子 さんからのメッセージを紹介!
#パラスポーツ #バリアフリー #パラリンピック #1周年
#パラバリエーションのHPは [seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/cross-efforts/...](#)
インスタは [instagram.com/TMGparasport_A...](#)



日本オリンピック委員会理事
世界オリンピック協会理事
こたに みかこ
小谷実可子 さん



パラ応援大使の小谷実可子です。
東京パラリンピックから1年、
もっともっと障害のある方と
ない人が混ざり合って自由に、
軽快に社会生活を楽しめる
東京にしていきたいです!

パラスポーツムーブメントの輪を広げよう!!

<パラ応援大使公式SNS>

パラ応援大使活動報告 ② 1周年記念イベントに伴う発信

- 1周年記念イベントをパラ応援大使が観覧。当日の様子をSNSで発信
東京2020オリンピック・パラリンピック1周年記念セレモニー（7/23）
東京2020パラリンピック1周年記念イベント（8/24）
「Thank you Tokyo!」（10/16）
- 応援大使同士の交流も活性化



<「Thank you Tokyo!」>
(猪狩ともか氏、根木慎志氏、二條実穂氏、三浦浩氏)

🔄 パラ応援大使さんがリツイートしました
Little Glee Monster @LittleGleeMonst · 8月24日
「東京2020パラリンピック1周年記念イベント」の車いすバスケットボールのエキシビジョンマッチでパフォーマンスをさせていただきました！！
オリンピックパラリンピックの東京での開催から1年。
これからもリトグリは音楽でスポーツをする皆さんを応援していきます！
#パラスポーツ
#パラ応援大使



💬 59 🔄 522 ❤️ 4,219 📌

< Little Glee Monster SNS >

パラ応援大使活動報告 ③ 関連イベント等への出演

- ・ イベント等への出演を通じて、パラ応援大使がパラスポーツの振興とバリアフリー推進に寄与

関連イベント等への出演（主なもの）

開催日	イベント	会場	参加応援大使
R3.12.19	チャレスポ！TOKYO	東京国際フォーラム	上原大祐氏、二條実穂氏、三浦浩氏
R4.2.26	障害者スポーツフォーラム	オンライン出演	高桑早生氏
8.24	東京2020パラリンピック1周年記念イベント	有明アリーナ	Little Glee Monster 根木慎志氏
10.8	チャレスポ！TOKYO	有明アリーナ	根木慎志氏、瀬立モニカ氏 パクンマクン
10.15	有明聖火台レガシー設置お披露目セレモニー	シンボルプロムナード公園	根木慎志氏、瀬立モニカ氏
11.5	BEYOND STADIUM 2022	東京体育館	高橋みなみ氏、猪狩ともか氏 根木慎志氏、瀬立モニカ氏
11.20	TOKYOユニバーサルウォーキング2022	国立競技場周辺 動画出演	根木慎志氏、二條実穂氏 猪狩ともか氏
11.23	GRAND CYCLE TOKYO	レインボーブリッジ等	葭原滋男氏
11.25	TOKYOスポーツレガシーツアー2022	海の森水上競技場	根木慎志氏



<BEYOND STADIUM 2022>
ボッチャ・猪狩ともか氏

パラ応援大使活動報告 ④ 東京都人権プラザ視察

- ・パラ応援大使6名が東京都人権プラザを視察（令和4年11月25日）
（高田朋枝氏、高橋儀平氏、二條実穂氏、野村祐介氏、三浦浩氏、
ヨーコ・ゼッターランド氏）
- ・日常生活で感じるバリア（車いす）の体験、ウェルカムトイレ、パラリンピックムラール等の展示を見学

これより、当日の視察模様を記録した動画を放映いたします。



<記念写真（パラリンピックムラール）>

パラスポーツの振興とバリアフリー推進に関する今後の取組

○ 今後開催予定のパラスポーツ大会

・ 来年東京で開催予定の主な国際大会

第23回全日本パラ・パワーリフティング国際招待選手権大会（2023年1月）

パラサイクリング・タイムトライアルUCI国際大会（2023年3月）

2023 WWR アジア・オセアニア チャンピオンシップ(車いすラグビー)（2023年6,7月）

IBSA柔道グランプリ東京大会(視覚障害者柔道)（2023年12月）

・ パリ2024年パラリンピック競技大会

（2024年8月28日から9月8日の12日間開催予定）

・ 2025年デフリンピック大会

（2025年11月15日から26日の12日間開催予定）

100周年を迎える記念すべき大会。夏季及び冬季を通じて日本で初めての開催

○ バリアフリーの推進

- ・ ユニバーサルデザインのまちづくりを都内全域に展開

**「 パラスポーツやバリアフリーを
根付かせていくために 」**

< 意見交換 >

「大使の方々からいただいたアンケート」

- ① パラ開催後に変わったこと、1周年記念イベントの感想等
- ② パラスポーツやバリアフリーを根付かせるために必要なこと
- ③ 大使自身でやりたい活動・発信、連携等のアイデア

事前アンケート①「パラ開催後に変わったこと、1周年記念イベントの感想等」

【開催後に変わったと感ずること】

- パラリンピックがどのようなものかを説明しなくてよくなった。
- 大会コンセプトでもあった多様性と調和。この言葉が本当にみんなに届いた。
- 今までより、パラスポーツの認知度は上がっている。
- パラスポーツの様々なイベントや体験会增加
- 関係者の皆様から今後のパラスポーツの提言や街づくりへの提言が目につくようになってきている。
- 社会では残念ながら変化は感ずない。今までのパラリンピック開催後も同じではないか。

【1周年記念イベントの感想等】

- 有観客の中でプレイしている選手の皆さんがキラキラして見えた。
- 選手として東京パラに出場した実感が1周年イベントに参加して更に高まった。

【その他】

- 公共交通の係員の接遇態度が改善された。
- 益々パラアスリートの皆さんが積極的にコメンテーターやCM等に出演する事が増えることを期待
- メディアでも取り上げてもらえることもあり、隔たりがなくなってきたような気がする。

事前アンケート②「パラスポーツやバリアフリーを根付かせるために必要なこと」

【イベントの開催等】

- **パラスポーツイベント**の定期的な開催。メディアでの**バリアフリーに関する発信**を継続
- 「私にはパラスポーツは関係ない」という人を楽しく巻き込んでいく**イベントの開催**
- **常設体験の場の設置**

【バリアフリーの推進】

- **ハード面は2020大会を機に整備された事を実感。ハードとソフトの両面が揃う事**で、全ての人にとっての更なるバリアフリー化に。
- 法制度による**ハード環境の整備**と、ソフト面の取組として、特に**接客業務における意識啓発**
- **当事者でなくては気付かない壁がまだ沢山ある**筈。小さな意見も自分事として考える。
- 一人一人が**ほんの少しだけでもいいので、考え行動**につなげれば、素晴らしい社会が実現する
- 社会生活で、もっと**頻繁に当たり前**に車椅子の方と生活できるようになりたい。

【その他】

- **ボッチャ・バスケ・ラグビーなどをフィーチャー**させることが大切。そこから関心を広げてはどうか。
- **10年先を見据えて伝え続ける**事が必要

事前アンケート③「大使自身でやりたい活動・発信、連携等のアイデア」

【やりたい活動・発信】

- 大使の方々に**対談**をしたり、**ポッチャ大会**などを開催
- 無作為に2~3人のグループを作り、**個々の得意分野をコラボした取組**
- アート、音楽**様々な分野の方々とコラボ**し違いが輝く社会を目指す活動
- 屋台出店やオリジナル商品の開発等、**「食」を通して付加価値を付ける取組**
- 私が**主催する大会に大使にも参加**してもらい、一気に広げたい。

【パラスポーツ・バリアフリーへの関心拡大】

- **出前授業ができる場と機会**の拡大。**各地でのパラ関連イベント**の開催・参加
- パラスポーツ**選手に興味・関心を持ってもらう**事が大切。例えばパラ選手だけのラジオ番組を制作
- 選手達の**日常とアスリート活動の両方**を取材したり、発信したりするコンテンツがあると良い。
- 小中学校に**パラスポーツの楽しさやバリアフリーの観点**から人権教育に繋げた活動

【その他】

- **車椅子ユーザーの方の話**を聞くカジュアルなオンラインセミナーなどの開催
- **「パラスポーツやバリアフリーの日」**などを設定して広く認識してもらおう。

アンケート（1）

パラリンピック開催後に変わったと感じること、1周年記念イベントに参加しての感想等

【開催後に変わったと感じること】

- ・パラリンピックがどのようなものかを説明しなくてよくなった
- ・レース用車いす体験で「これに乗りたかった」と言われることが増えた
- ・障がいのあるイベント参加者があまり増えていない
- ・大会コンセプトでもあった多様性と調和。この言葉が本当にみんなに届いたと思います。
- ・周りの人々にパラスポーツの話をした時に、東京パラリンピックを観た時の感想や自分の思いを話してくれる人が増えました。今までより、認知度は上がっていると思います。しかし、現状は話題に上れば話す状態なので、自然と日常会話の中にパラスポーツの話が上がるようにしたいと考えています。
- ・東京開催だったので、パラスポーツの認知度は国内に広がったのでは。
- ・パラリンピックについて話すときの社会の認知度が確実に上がったと感じます。
- ・パラリンピックやパラスポーツへの認知度が向上した。さらに、特定のパラスポーツにおいては選手の知名度も向上し、ファンの獲得に繋がっている。
- ・パラ各種目の認知度が上がり(アスリート個々の姿勢の素晴らしさ)また、ボッチャ等子供向けイベントに採用された競技の楽しさ、集中力養成が広がる。
- ・パラスポーツの様々なイベントや体験会が増加してきている。スポーツ施策にも積極的にパラスポーツを検討するようになってきている。
- ・大会開催以降、以前は見ること無かった競技用車いすの試乗体験やボッチャ、ゴールボール等のパラスポーツ体験コーナーを見るようになった。
- ・メディア等でパラスポーツが取り上げられる事が多くなったように感じられる。確実にパラスポーツとバリアフリーの関心度は高まっていると思う。
- ・以前よりはパラスポーツに興味を持ってくれる人が多少増えた。
- ・イベントには参加しませんが、アスリートの方々を含めてパラ大会の関係者の皆様から今後のパラスポーツの提言や街づくりへの提言が目につくようになってきているように思います。
- ・社会では残念ながら変化は感じない。自分自身は駐車場に行けば身体障害者用が何台あるかとか、店に入ればバリアフリーになっているかなど気にするようになりました。
- ・残念ながら、あまり変化がないのでは。今までのパラリンピック開催後も同じではないか。
- ・パラリンピック開催に向けてパラリンピアンへの雇用が進んだと感じましたが、パラリンピックが閉幕しその熱が少し冷めてしまっている気がします。
- ・前クールに放送していたドラマ「オールドルーキー」で車いすテニスを取っていたのを見て、これはパラリンピックの影響でもあるのかなと思いました。
- ・小中学校のテーマがパラスポーツ関連から人権教育に変わった。

【1周年記念イベントの感想等】

- ・ 1周年イベントは、有観客の中でプレイしている選手の皆さんがキラキラして見えました。ライブパフォーマンスも楽しかったです。
- ・ 選手として東京パラに出場した実感が1周年イベントに参加して更に高まった。
- ・ 一周年記念イベントでは日本代表選手による試合をオンラインと有観客で観戦することが出来、観客はもちろん選手達からも本大会にまさる興奮と喜びを感じたという声が聞かれました。またエキシビジョンでは車いすユーザーのユーチューバーによる試合も多様性の素晴らしさを表現するとても素敵な試合でした。エンディングの都知事はじめ参加ゲストによるパフォーマンスも誰もが素敵に輝く未来を表現していたと思います。

【その他】

- ・ 公共交通の係員の接遇態度が改善された。タクシーはより取組を進めていく必要があるのではないかな。
- ・ 益々パラ・アスリートの皆さんが積極的にコメンテーターやCM等に出演する事が増え期待します。多様性の有る意見が未来を開きますね。
- ・ 最近は少しメディアでも取り上げてもらえることもあり、隔たりがなくなってきたような気がします。少しずつ垣根がなくなれば良いなと思います。
- ・ 特に子供たちの関心が高くなったと感じます。オリンピック・パラリンピックムーブメント事業の効果を実感しています。若い世代の興味関心により、パラスポーツが特別なものではなく、誰もが楽しめる日常的なものになり、更に広がって行ってほしいです。
- ・ 一気に教育の場でのパラスポーツの予算がなくなり、子供たちのパラスポーツ学習機会が減るという変化。イギリスではロンドンパラリンピックからずっと継続して教育をしていると聞いています。なぜ日本は継続することが出来ないのか不思議です。「継続は力なり」をちゃんと東京都から実行できると良いなと思ってます。

アンケート（2）

パラスポーツやバリアフリーを根付かせていくために、今後、どのようなことが必要か

【イベントの開催等】

- ・ パラスポーツイベントを定期的で開催したり、メディアでバリアフリーに関する発信を継続していくことが大事だと思います。イベントも著名な方をゲストで呼ぶ方が盛り上がっている印象です。
- ・ やはり定期的なパラリンピックイベントや体験会を継続していくことが必要であると感じています。
- ・ メディア・SNSでのパラスポーツや情報の発信、パラやバリアフリーに関するイベントを継続していくことは必要不可欠である。
- ・ 機会を減らすのではなく増やす事が大切。「私にはパラスポーツは関係ない」って人を楽しく巻き込んでいくイベントの開催（今は興味ある人とか知ってる人しか集まらなくて、パラスポーツの輪が歩留まりしてる）
- ・ 大会以降芽生えた意識を定着・向上して行く為、常設体験の場や目立つ定期開催大会（年一か二回）
- ・ 今の時代、SNS等々の活用が大切なのかと？

【バリアフリーの推進】

- ・ ハード面は2020大会を機に整備された事を実感。ハードとソフトの両面が揃う事で、全ての人にとっての更なるバリアフリー化に。
設備面のハードは、身近な場面でも2020大会を機に整備された事を実感しています。ハードだけではなく、ハードとソフトの両面が揃う事で更にバリアが無くなるのでは？障害の有無に関わらず、誰もが過ごしやすい街になっていくのではと思います。
- ・ 先鋭的なバリアフリーマークの設置方法（3Dファントム等）を考える。
法制度によるハード環境の整備と、ソフト面の取組として、特に接客業務における意識啓発。
- ・ 当事者でなくては気付かない壁がまだ沢山ある筈。小さな意見ほど見逃さず、みんなの事として取り上げていきましょう。
- ・ 障害のあるなしに関わらず誰もが違いを認めて素敵に輝く社会を一人一人がほんの少しだけでもいいので、考え行動につなげれば素晴らしい社会が実現すると思います。
- ・ 社会生活で、もっと頻繁に当たり前前に車椅子の方と生活できるようになりたい。その為に車椅子の方がもっと外出しやすい社会になって欲しい。世界陸上オレゴン大会は会場が客席までスロープだけで、車椅子の人や電動スケーターにギブスの足を乗せた人たちが家族と一緒に人の流れの中にいた。最上階は全て車椅子席だった。
- ・ 特別なものではなく、当たり前のようにそこにあるようにしていきたいと思います。また、バリアフリーは建物やルールに存在すると考える人が多いのですが、心や概念に宿るものだという事を訴えていく必要があるのではないかと思います。

【その他】

- ・ ボッチャ・バスケ・ラグビーなどをフィーチャーさせることが大切。そこから関心が広がるようにしてはどうか。
- ・ マスコミの取上げは勿論、日本人の『優しさ』『気配り』『アスリートの努力姿勢』等をPR素材とする。
- ・ 小中学校へ地道な講演活動をする事で10年先を見据えて伝え続ける事が必要と思います。
- ・ 義務教育の体育の時間にパラスポーツを導入してほしいです。上智大学がやっているパラ大学祭に2度参加しましたが、どの競技も白熱し、面白いですし男女差や肉体の成熟度の差がゆるやかになるので参加しやすいと思います。
- ・ 障害の有無や程度に関わらず、誰もがスポーツをともに楽しめる環境を作っていきたい。パラスポーツをみんなで一緒に楽しむことで、それぞれが個性や能力を発揮し、お互いを尊重し合うことの大切さを考えるきっかけになれば嬉しいです。
- ・ 個々がパラスポーツに興味を持ち、経験することでアスリートの努力を知り、健常者である自分達が何をすべきかを考え普及することが大事なのではないかと考えます。
- ・ 都内の公共的なスポーツ施設を幾つかのエリアに分けながら、少なくともエリア内のどこかでは多様なパラスポーツのチーム作りが展開されているという構図を期待します。結果ハード、ソフトの両面はおのずとついていかざるを得なくなります。
- ・ コーチやメンターの養成
- ・ 多くの方が強化できる身近さの仕掛け（個別の価値観を刺激する、尺度を工夫した提案方法の模索）
- ・ 日曜午前はサイクリング時間とし、山手線内を車を通行止めにする。タンデム自転車を活用することで、ひとりでサイクリングできない人も風を感じられる。
- ・ 根強く今の運動を続けていく事しか、思いつきません。

アンケート（3）

大使自身でやりたい活動・発信、または大使同士の連携等について、アイデア

【やりたい活動・発信】

- ・ 大使の方々で対談をしたり、ポッチャ大会などを開催したら楽しいかなと思いました。LINEオープンチャットやタイムツリーは個人の連絡先を知られることなく連絡が取ることができます。
- ・ パラ応援大使には様々な分野の方が集まっていっしょるので、そうした分野を超えて、現場をみたり知ったりする機会を持てたらいいと思います。また、今回はスケジュールの都合でかありませんでしたが、ポッチャ大会へ応援大使チームでの参加企画も良いと思いました。
- ・ 大使と対談形式の記事をアップしていく企画を作ろうと思ってるので、東京都さんに繋いでもらって企画をしていきたい。
- ・ スポーツの力、素晴らしさ、目標に向かう精神力の強さそこからの信頼関係の構築が出来ることの発信と各分野の尾根を超えた交流をはかる。
- ・ 無作為に2~3人のグループを作り、個々の得意分野をコラボする。例えば、バーベキュー&タンDEMサイクリングを楽しむ会。
- ・ 引き続き、パラスポーツの体験や大会に大使達と参加。また、今後はスポーツだけではなくアート、音楽様々な分野の方々とコラボし違いが輝く社会を目指す活動を行っていきたくです。
- ・ パラスポーツの大会やイベント等に屋台を出したり、オリジナル商品の開発等「食」を通して活動に付加価値を付けられる様な事があれば是非協力させて頂きたい。
- ・ 私が主催する大会に大使にも参加してもらい、一気に広げたい！

【パラスポーツ・バリアフリーへの関心拡大】

- ・ 出前授業ができる場と機会の拡大
- ・ 各自で行っている活動の共有と、その活動を改善するための助言の共有
- ・ 小学校に派遣してもらいたいです。
- ・ 都市部ではもちろん、各地でのパラ関連イベントの開催・参加。主要都市での開催だけでなく地方などでも行うことで、遠方で参加しづらかった障がいを持った人の参加や興味を持ってくれている参加者の獲得ができ、結果として底上げに繋がると考える。
- ・ パラ選手の人柄をもっと知りたい。世間に紹介したい。競技内容より、人に興味・関心を持ってもらう事が大切だと感じます。例えば、パラ選手だけのラジオ番組をつくる。そこでは恋愛の話、家族の話、仕事の話が好きに話してもらいます。きっと身近に感じ、親近感を抱いてくれると思います。
- ・ 選手達の日常とアスリート活動の両方を取材したり、発信したりするコンテンツがあると良いなと思います。日常にはバリアフリーや福祉に関するヒントがあると思いますし、アスリート活動は人々の心を動かす力がある。そのオンとオフ、どちらも見せることが出来ると良いと思うので、メディアに訴えていきたいと考えています。
- ・ パラ応援大使から小中学校にパラスポーツの楽しさやバリアフリーの観点から人権教育に繋がった活動
- ・ オンラインセミナーを毎月開催している。小学校でのユニバーサル・デザインに関する出前授業をやっている。
- ・ 現役のアスリートが定期的に発信する場がもっとあるとよいと思います。

【その他】

- ・ 大使同士より、車椅子ユーザーの方の話聞くカジュアルなオンラインセミナーなど開催して欲しい。プライドハウスがやっているアライアスリート研修のような、パラサポート研修などやってはどうか？
- ・ できれば、都と近県、近隣自治体、あるいはオリパラを支えた共生社会ホストタウンとのネットワーク。2020大会レガシーは聖火リレー同様、都だけのものではないと認識しています。都事業のPRも含めて期待しています。
- ・ 食に関して日本は豊かだが多様性には貧しい。海外からもアレルギーや宗教問わず安心して来て頂ける国にならねば。外食産業あと一息！
- ・ 「パラスポーツやバリアフリーの日」などを設定して広く皆さんに、認識してもらう様にする。
- ・ 色々と仕事の都合で参加できていなく交流を持つことができていないので、アイデアが浮かぶまで到達していない感じです。